

※南中生は右のQRコードを使うとホームページでもご覧になれます。

長井市立
長井南中学校
学校便り

南中生

令和3年
12月17日(金)
第35号



米沢養護学校中学部・高等部併置分校整備に係る説明会

12月14日(火)18時00分より本校多目的室で令和5年4月に開設予定の米沢養護学校中学部・高等部併置分校整備に係る保護者・地域の方対象の説明会が、山形県教育委員会主催で開催されました。

はじめに県教育委員会から分校整備の経緯や現在の進捗状況の説明がありました。その中で、「支援の必要な子どもたちへの切れ目のない支援の大切さ、共生社会をめざすインクルーシブ教育の意義、分校に期待されている特別支援教育のセンター的機能」の話がありました。さらに、長井市教育委員会土屋正人教育長から「長井南中学校に特別支援学級(情緒・肢体不自由・病弱学級)が開設されたことにより南中生が成長できた経験から、分校との交流を通して『共生社会の拠点』になってほしい。工事や分校開設への力添えをお願いします」との話がありました。加えて、長井市教育委員会より工事期間中と分校開設時のグラウンドの使用状況、長井市上下水道課より分校開設に係る下水道工事について説明がありました。

なお、PTA三役の方へ9月に、また、グラウンド使用に係る部活動(陸上部・ソフト部・サッカー部)保護者の方へは11月に説明会を実施しております。



挨拶する山形県教育委員会 庄司美千代特別支援教育課長



「小さな親切」作文コンクール優秀賞に学ぶ

先週の「南中生 第34号」でお知らせしました、「小さな親切運動」の作文コンクール地区優秀賞に輝いた那須菜奈美さんの作文を紹介します。

【12月19日(日)午後0時40分ごろYBC ラジオ「こころのサプリ」で放送されます。】

小さな親切を大切に

3年 那須 菜奈美

親切は、私たちの生活に最も近い距離にあると、私は思っている。学校にいる時も、周りを見れば、どんなに小さいことでも親切をしている人がいつもいる。私も、自分が親切だと思っていることは、行動に移している。

私が受けた親切で一番心に残っていることは、吹奏楽コンクールの県大会のできごとだ。大会当日の朝、自由曲の練習中に、いつも出る一番高い音が、緊張しているせいなのか出せなかった。そのときは少し心配になった。本番では絶対に出そうと、心を切り替えて会場に向かった。本番前に、一番仲の良い友達が「菜奈美ならできる。自分を信じて!」と言ってくれた。しかも緊張して肩がガチガチになっていたのを、その友達がほぐしてくれた。こんなに親切に対応してくれていて、私はそれに応えるように頑張ろうと強い気持ちで舞台上がった。しかし、一番最初のソロが近づいてきたとき、だんだん緊張が増えて音が一音出せなかった。頭が真っ白になって、涙がこみあげてきそうだった。その次の音

